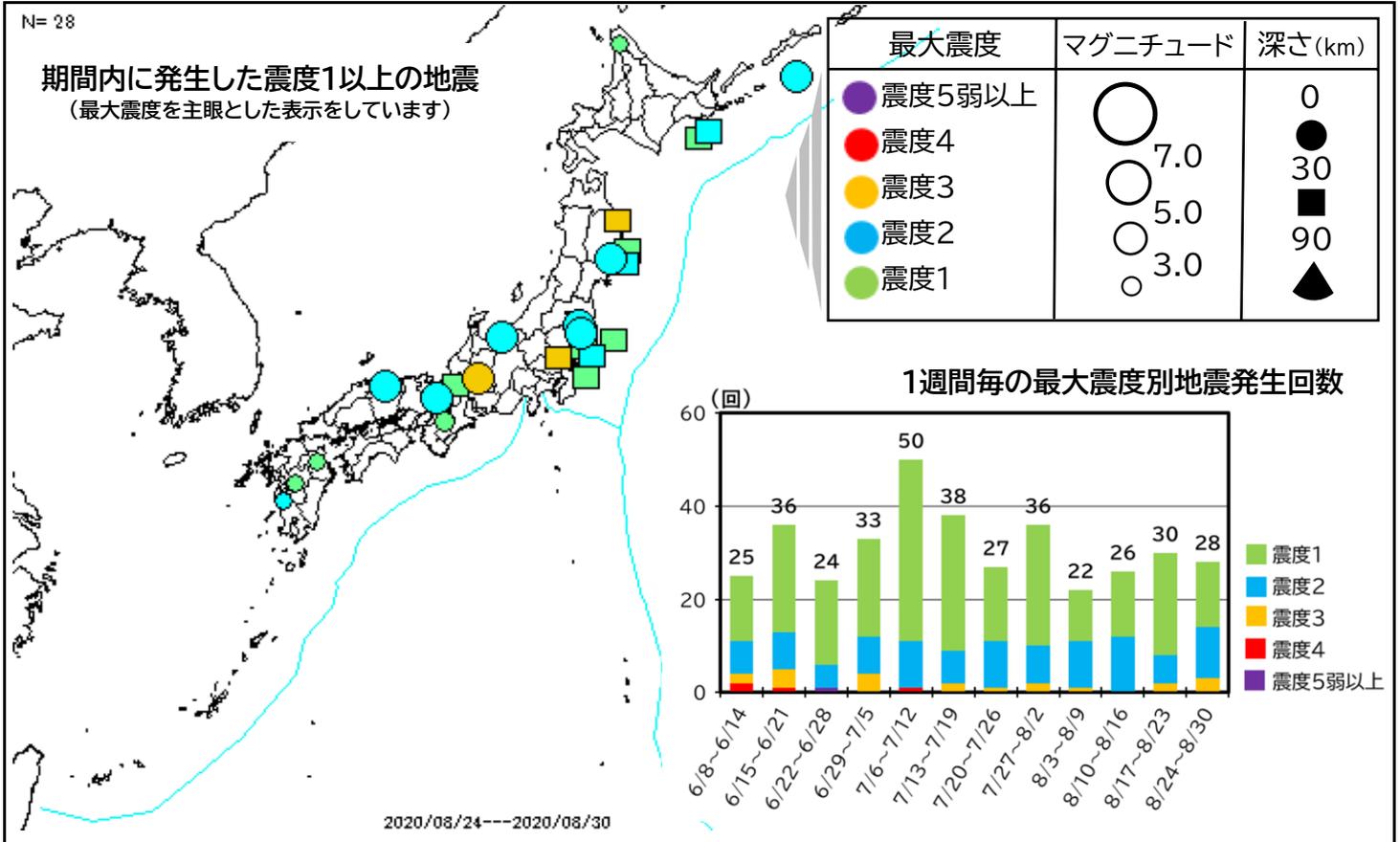


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

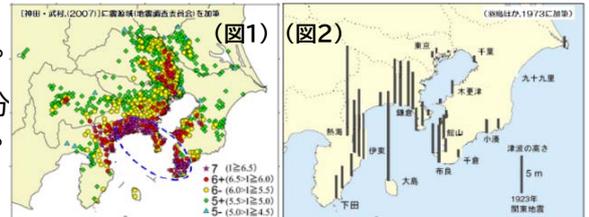


主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が28回発生。最大震度は3が3回。■
- ・27日08時55分に岐阜県美濃中西部で発生した地震(M4. 0、深さ9km)により、岐阜県関市で震度3を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。この近傍でM4を超える地震は1993年7月30日以来。
- ・28日03時20分に岩手県沿岸北部で発生した地震(M4. 1、深さ51km)により、青森県南部町、階上町で震度3を観測。この地震は陸のプレートと太平洋プレート境界付近で発生した逆断層型。
- ・30日14時37分に茨城県南部で発生した地震(M4. 4、深さ60km(速報値))により、水戸市、つくば市、宇都宮市、前橋市などで震度3を観測。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。

トピックス

- 関東大震災 =自然の挙動のなすがままにまかせ、これからも同じ被害を繰り返さないために= ■
- ・9月1日は関東大震災が発生した日です。地震自体を「関東地震」、関東地震によって発生した災害を「関東大震災」と呼び分けることもある。関東大震災とはどのような地震だったのか？ 改めて、その概要を見えます。
- ・「震源」:相模トラフ沿いのプレート境界付近で発生(M7. 9)した地震だが、震源については微妙な違いを唱える異説が複数あり解明には至っていない。
- ・「震度」:震度7や6強の地域は震源に近い神奈川県から千葉県南部に広がっている。震度6強の地域には、震源から離れていても利根川、荒川に沿って分布している所もみられる。図1は現在の震度階級として推定した震度分布図。
- ・「津波」:相模湾周辺と房総半島の南端で数m、熱海と伊豆大島では12m、館山では9mであった(図2)。早いところでは地震後5分程度で襲来。
- ・相模湾や伊豆半島東岸で大きな被害を伴った。
- ・「被害」:東京での火災による被害が大きく報じられていることから、被害は東京都に集中した火災によるものが主と思われるが、住家の全壊による死者も多数発生している(表参照)。住家全壊による死者は神奈川県が東京都を上回っている。この他にも津波による死者200~300人、土砂災害による死者700~800人の大半も神奈川県で発生している。
- ・阪神・淡路大震災や東日本大震災での出来事は自分の所でも起きることと考えて対策を講じるべきと言い続けられていることだが、多くの人はいくら出来事を対岸の火事と考えているのも現実だろう。様々な機関が取り組んでいる重要な課題だが人の意識を変えることは簡単ではないようだ。これまで何回も同じ経験を繰り返しているにもかかわらず、自然の挙動のなすがままにまかせ、これからも同じ被害を繰り返すのは文明の恥ではないだろうか？



都 県	死者数(人:行方不明者を含む) 内閣府資料より				合計
	建物全壊	火災	流出埋没	工場等の被害	
神奈川県	5795	25201	836	1006	32838
東京都	3546	66521	6	314	70387
千葉県	1255	59	0	32	1346
埼玉県	315	0	0	28	343
静岡県	150	0	171	123	444